

子育ての世代間ギャップあるある

こどもを思う気持ちは同じなのに、世代間で意見が違う…そんな経験ありませんか？

[うるおばあちゃん]



うるベビは、汗をかきやすいから、パウダーでサラサラにあげよーね。



[うるベビ]

ちょっと待ってね。今は保湿してあげる方がいいって聞いたよ。



[うるママ]

サラサラが気持ちいいのよー。



いやいや、それ今は違うらしいよ。



ちょっと考え方が違うかも…



!?

!?



【子育ての先輩方へ】

子育ての常識は時代とともに少しずつ変わってきました。その時代ごとに、こどもを大切に思いながら育児が行われてきました。どちらが正しい・間違いではなく、医学的な知識や生活環境が変化する中で、その時代ごとにこどものためのベストが更新されてきたというだけなのです。

お互いの考えを知ること、世代間のギャップはぐっと縮まります。「どうしてそう思うのか」を共有できると、親世代も祖父母世代も、気持ちが少し楽になります。

ギャップを埋めるための3つのポイント💡

①子育ての方針を確認しておく

どんなやり方を大切にしているのかを知るだけで、お互いに安心して関わりやすくなります。

②見守りながら必要な時にサポート

見守りながら、必要な時にそっと手を貸すスタンスが安心につながります。

③「かつてはこうだった」「今はこうなんだね」と対話する

どちらの経験も尊重しあうことで、自然と歩み寄りが生まれます。



子育ての考え方における世代間ギャップをこれから一緒に学んでいきましょう。
次回は栄養編を予定しています。

問 子育て包括支援課 ☎989-0220